

## 開会の言葉

## 伊藤武彦

皆さん、こんにちは。和光大学現代人間学部心理教育学科学科長の伊藤武彦です。

心理教育学科は発足して今年で2年目になりますが、現在、2年後から幼稚園教諭と保育士の養成をスタートしようと準備を進めております。和光大学は1966年の創立以来、梅根悟初代学長の理念のもとでユニークな教育を続けてきました。重要な理念の一つに「哲学する生活者」というものがあります。我々としてはやはり、保育者にも「哲学する生活者」となってほしいと考えています。研究と学びのコミュニティとしての大学で、高い専門性、幅広い教養、人間性、そういうものを兼ね備えた保育や幼児教育の専門家を養成したいと考えています。

具体的には、「4つの連携」を通じた保育者の養成を計画しています。

第一に、大学のある町田・川崎地域を中心として、子育て支援を通じた地域社会との協力を行いたいと思います。

第二に、和光学園の幼稚園から高校までと連携を強めることが課題です。今日も和光幼稚園のほうからパネリストとして大瀧園長がみえていますが、和光学園の伝統、教育の和光ということを生かしていきたいと考えています。

第三に、大学院教育との連結を強めます。現在、大学院に発達臨床コースがありまして、ここで臨床発達心理士という幼児教育において有益な資格を取ることができます。ゆくゆくは幼稚園教諭専修免許状も取れるようにして、学部4年間と大学院2年間の一貫した教育によって、高度な保育教育専門職を養成したいと考えております。

そして第四に、文化系の総合大学としての条件を生かして、異なった専門領域との連携・交流をはかり、幅広い視野を持った保育者の育成を目指したいと思います。

このシンポジウムはその重要なステップだと考えております。皆様と、よりよい幼児教育・保育について考えていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

[和光大学現代人間学部心理教育学科学科長・心理教育学科教授]